

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社やわらぎ	代表者	寺川勲雄	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・有限会社やわらぎとして、松山市、東温市にグループホームを4事業、小規模多機能型居宅介護事業を2事業、介護保険外サービスとして、市内に高齢者向けの賃貸住宅の運営を行っている。 ・小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村は4階建ての3階部分で同一建物内の2階がグループホーム、4階が高齢者向け賃貸住宅、1階には内科・循環器内科専門の病院（別法人）が併設。同一敷地内には、NPO法人SORA精神障がい者の就労支援事業所を運営している。サービスの内容としては今年度よりサービスの対象は要介護者として要支援（介護予防）のサービスを廃止した。登録定員を18人、通い定員を12名人、宿泊を8人令和4年1月1日より、職員の配置、体制で久万ノ台の小規模多機能居宅介護事業所を本体としてサテライト運営に変更する。サテライト運営の変更に伴って宿泊定員が6人に変更となる。住み慣れた地域での在宅生活の支援として、お一人おひとりの利用者、ご家族の意向や生活環境、身体状況等を踏まえて、必要なサービスを共に考え、もてる力を生かせるような介護計画と実践を重ねて行けるように職員一丸となってケアに取り組む姿勢を大切に考えております。
事業所名	(本体) 小規模多機能ホームやわらぎ (サテライト) 小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村	管理者（本体） 施設長（サテライト）	越智美代子 田村富美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	3人	1人	2人	9人	1人	21人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	介護記録でバイタル（水分・食事量・血圧・排泄等）の記入漏れをなくす。	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタル記録の中で必要に応じて水分量のデータをとる場合に記入漏れがあり、後日、担当した職員に聴き取りして追記する時がある。頻回な場合は紙で記録し半日分ずつを総計するように変更したりして医療への情報提供に漏れがないように工夫した。 ・血圧の数値については平常値よりも明らかに異なる上下の数値が出た場合の再測ができていない日がたまにあり、対応した職員が他の職員へ周知ができていない日があった。改めて再測が必要な数値の場合の漏れがないように職員周知をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に行かせていただいているので評価しにくかったです。 ・大変よくやっていると思います。 ・特にありません。 ・事業所に行かせていただいているので評価しにくかったです。 ・できている点、できていない点が明確にされているため、できていない点が少しでも減るように取り組みをお願いします。 ・夜勤専従者も含めて全職員で行えている。 ・各項目についてきちんと評価し今後活かしてると言う姿勢が感じられる。 ・事業所に行っていないのでわかりません。 	◎事業所改善計画の進捗状況を半年に1回行い、実施できていないものやできないものは修正を加える。

(続き)
A. 事業所自己評価の
確認

B. 事業所の
しつらえ・環境

○毎日の掃除を全職員が行う
気持ちを持つ。他の職員がし
てくれた時は感謝の気持ちを持
つ。
○整理整頓を心掛け、使った
ものは元の位置に戻す。

・掃除等の業務担当をあえて決め
ないようして、お互いにケアの合
間などで行うようにを継続してい
る。偏りが生じている場合はス
タッフ会や日々の申し送り等で意
見を出し合うようにしている。何
とかお互いに協力し合ったり、補
うようにして対応できている。職
員の個別の不満等が生じた時は時
間を空けずに必要な対応をとるよ
うに心がけている。気がついた職
員が遠慮なく言えること、先延ば
ししない事が大事と言う事も折
に触れてスタッフ会や申し送りで
伝えるようにしている。
・整理整頓は職員によって個人差
はあるが、以前に比べて探すこと
に費やす時間は減っている。
・台所、トイレは特に衛星面に注
意して掃除を行うようにしてい
る。

・会った時は挨拶できている
が、コロナ禍で接する機
会は少ないと思う。具体的
な改善点で地域からの意見
などについて話し合うとあ
るが難しいと思う。
・コロナ禍のため、地域と
の交流は困難と考えます。
状況が落ち着いたら交流を
再開していただけたらと思
います。
・特にありません。
・「ゆったりした時間は持
てないことも多いが穏やか
な空気が流れるよう心掛け
ている。」とあり、日々の
多忙な業務の中で職員が意
識しながら対応しておられ
良いと思う。
・事業所を訪問できないた
め、不明なところについて
は「わからない」と回答し
ました。
・コロナ対策など色々と工
夫して頂いていると思う。

◎コロナ感染対策の継続は
しながらも戸外、建物4階
のベランダの活用をして行
事を行う。

C. 事業所と地域のかかわり

○気持ちよく丁寧なあいさつ・対応をする（コロナ禍で対応が増え、対応が雑になってしまっていることがあるため）
（追加）○コロナ禍の場合：（24時間玄関を施錠しており、来訪者が来られた時、帰られる時その都度開錠している。開錠をかなりお待たせすることがあるため、）開錠をお待たせせずに行う。

・ご家族、来訪者への挨拶は丁寧に行うように心がけている。コロナ禍でインターフォンでの会話で丁寧さがかかる場合はスタッフ会や申し送り等で周知を図るようにしている。職員が手薄になる時間帯や個別の利用者の対応中でお待たせすることは時々あり、お詫びすることはあるが、苦情として上がったことは今年はない。
・バス停近くまでほぼ毎日、ゴミを集める掃除を継続している。その時に挨拶することも多い。ご近所の方もお会いした時は近況も含めて話す機会もある。

・会った時は挨拶できているが、コロナ禍で接する機会は少ないと思う。具体的な改善点で地域からの意見などについて話し合うとあるが難しいと思う。
・コロナ禍のため、地域との交流は困難と考えます。状況が落ち着いたら交流を再開していただけたらと思います。
・行事等でのかかわりはコロナ禍もあり難しかったと思いますが地域の方が見学に来られたり、個人とのかかわりがあるので少しずつ広まっていくと良いなと思いました。
・コロナウイルスの為、事業所の方、利用者様とのかかわりが出来なく、とても寂しいです。
・事業所の敷地以外の掃除をされていることで、地域の方が相談しやすい環境になっているのではないかと思います。今後も継続できればと思います。
・事業所の運営には地域の理解が必要であり、地域にとっては事業所を頼りに思っている。パンフレットのポスティングや手渡しを行われているとのことで良い活動だと思います。
・地域との連携、協働はとても必要ですが、現実的には難しい事が多いですね。でも、意識することは大切だと思います。

◎小規模多機能居宅介護サービスの案内と利用状況などの情報を地域へポスティングする。

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>○エコマップを作成する。</p>	<p>手書きのエコマップを作成して個別にファイリングしているが、修正などができていない。エコマップについて再学習をして、パソコン処理を行いたいと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍のため、地域との交流は困難と考えます。状況が落ち着いたら交流を再開していただけたらと思います。・エコマップ作成と書かれているようだが、分からない職員もいるようなのでもう一度スタッフ会等で勉強会をしてみたらどうか。・これは無理。・現実的にはなかなか難しいと思います	<p>◎スタッフ会にて再度エコマップについての勉強会を行い、作成した物の見直しを行う</p>
------------------------------------------	---------------------	---------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>○コロナ禍が継続の場合：運営推進会議は文書開催になるため案内や報告等をわかりやすい文書になるよう心掛ける。 ○通常通り運営推進会議が開催できる場合：テーマを決めて研修会を開く。</p>	<p>・運営推進会議は一年間、文書開催となり、活動報告では写真の活用する意見もあったが、利用契約時に個人情報にあたるものは同意しない方も多く、準備はしなかった。但し、一方で「事業所に行かないからわからない。」と求める事柄に対しての意見もあり、写真は個人を特定しないような処理を行うようにできればと考えている。文書開催ではあるが勉強会も兼ねてテーマを決めて資料を準備してご意見をお聴きすることはできた。資料についての細かい説明はできていないので不十分ではなかった。 ・対面での通常開催が可能になればコロナ禍前の会議に行っていたテーマを決めて学びの場を準備したいと考えている。</p>	<p>・コロナ禍のため、対面での開催は難しいと考えます。文書開催やリモート開催等で実施し、家族地域との連携をお願いします。 ・なかなか対面での開催が難しく意見交換でないので、コロナ禍が落ち着き早く対面での開催ができることを願っています。 ・要望（ペーパータオル）があり、運営推進会議の議事録で報告されるなど活用されていると思う。 ・様々な意見をよく聴いて下さっていると思います。</p>	<p>◎運営推進会議に参加していただく方が減少しているため、新規に参加、協力を得られるように地域へ働きかける。</p>
--------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>○火災・地震・風水害・夜間 に対応した訓練を年1回ずつ 行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末の3月に夜間に4階賃貸の台所から出火想定で避難訓練を行った。事前に消防署に相談し、アドバイスをもらう事が出来た事と職員の動きについても夜勤者が持ち場を離れることは想定外であったがグループホームの職員と2人一組なって、救助にあたりながら、消防署やその他援護者を待つなどを知る機会にもなった。実際に避難してみると場所が手狭だったり、誘導する場所が危険な場合もあり、課題が残ったので今後の対応に繋げたい。 ・風水害も垂直避難の訓練が行えた。但し、地域や関係機関は文書での通知や報告となったので、実際の連携には繋がっていない。開催の方法を考える上で、人数制限等を行いながら、今後の訓練の計画を立てていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よくできていると思いますが、認知症が進行した場合はさらなる改善を常に考えていって頂きたいと御願い申し上げます。 ・包括としても地域の防災活動などについては力を入れていこうと思っているので、また今後意見交換の場がもてれば良いと思います。 ・「利用者・家族・地域・関係機関で171伝言ダイヤルを使用し、確認をする。」と言う改善計画に上がっていたが、事業所を取り巻く関係者と日頃から訓練（伝言ダイヤル）することは良いことだと思います。今回の取組結果についてはわかりませんが今後も継続できればと思いました。 ・災害時には、地域の方々との協力体制が重要であると考えます。できるだけ地域の方々との連携に務めていただけたらと思います。 	<p>◎感染対策を行いながら、 地域の方も参加していただ ける計画をし実施する。</p>
----------------------------	------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年9月21日(9:30~11:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員10名 (※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	人	6人	2人	2人	10人

前回の改善計画

- ・サービス開始1週間前にはライフサポートプランを作成し、周知を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

更新するプランは朝の申し送りやスタッフ会で伝えるように努めているが、プラン作成が月末近くなる場合もあり、全職員が周知するには時間がかかる。「目通ししておいて下さい」後回しになってしまう。短時間、勤務日数の少ない職員は支援内容の変更なども周知が十分時間がとれないことも多い。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	人	6人	2人	2人	10人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	人	7人	2人	1人	10人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	人	7人	2人	1人	10人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	人	6人	3人	1人	10人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・人生や日々の生活、活動からお伺いすると常に和気あいあいに日々を過ごしておられる。
- ・サービス開始前にはライフサポートプランで周知を行っている。
- ・新規の利用者さんに対しての情報は一応、把握している。
- ・ライフサポートプランは朝の3分間研修を活用して、参加した際には確認をしている。
- ・訪問や通いで声掛けなど。
- ・利用者の不安、不満などについてもしっかりと聴きながら支援、対応できていると思う。
- ・一人ひとりの利用者様の訪問、対応して変化などないか声掛けを行うように努めている。今後も更に意識して対応したい。
- ・ご本人とご家族の意向が同じ方向とは限らない。可能な限りご本人に寄り添えるようにプランを作成し、サービスの提供に務めている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活がパターンの相違がある様だ。 ・一人の人に集中して支援介助と言う状況には至っていない。その人それぞれの持っている個性を活かし、各々の分野に導き支援して行くことができていない。 ・本人を支えるために家族、介護者のかかえている不安を受け止め、関係づくりのための配慮まではできていないと思う。関りが浅いと最初からはわかりにくい。 ・訪問や通いの仕事をしていないため。（夜勤専従のため。） ・新規利用者で通いの方には顔を合わせた時は声掛けを等は行っていたが、訪問に関してはできていない。夜勤専従のため、顔を合わす時間が取れない人もいる。 ・朝の3分間研修に利用者の送迎で参加できない時は確認ができていない時もある。確認、周知ができない時、自分自身で把握する時間を確保していない。 ・本人の情報やニーズについての理解。必ず、情報の目通しはしているがゆっくりと読み込めていない。時間が作れない。 ・必要な支援が勤務時間内にできることは限りがある。引継ぎで共有、チームとして連携がうまくできていない時がある。お互いに声を掛け合うなど。 ・入職して3か月で利用者様の把握ができていない。覚える事でいっぱい。 ・サービスを開始したが、コミュニケーション不足と説明不足でよりよい関係に繋がりにくかった。ご意向などもっと丁寧にすり合わせが足りなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>月1回のスタッフ会でプラン更新の利用者から周知する。スタッフ会に参加できない職員へはモニタリング記録用紙に職員名を記入した付箋をつけておき、確認ができた職員は付箋を所定のところへ貼る。全利用者分のライブサポートプランのファイルに紐づくようにしておく。目通し後は付箋を外す。（チェック表を作成したこともあったが、記載が途切れたため。）</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 9 月 21日 (9:30 ~11:00)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員10名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	4人	2人	10人

前回の改善計画	<p>○必要な支援について、例えば個別の運動は実施する時間を決め、その時間をアラーム設定しそれを合図に始める。利用者にも説明し取り組んでいただく。</p> <p>○ケアプランの内容の達成度がわかりやすいように%で表せるようなものにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・通いサービスの中で個別の支援内容実施で時間を決めて携帯電話のアラームの活用は有効で、職員の意識が違って、慌ただしい業務の中で利用者への声かけを忘れずにできているので有効だった。</p> <p>・モニタリングの様式は3か月を1枚として活用しているのでタイミングを逸して結局、本年10月より利用者新しい様式で順次行う。達成度の%は0・30・50・70・100%で図り、今後の対応につなげるようにした。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール) 」がわかっていますか?	人	5人	4人	1人	10人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	人	7人	2人	1人	10人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	人	3人	6人	1人	10人
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	人	5人	3人	2人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・会社から購入された健康ライフ (木の作りで座地で足ふみできるもの) で誰かれなく活用され表情が生き生きされている。</p> <p>・一人の利用者さんに対しては携帯のアラーム設定をし、歩行運動をして頂けている。</p> <p>・体を動かしにくくなってしまうのでちょっとでも歩きましょうかと声掛けを行っている。</p> <p>・昼間の時間帯はできていると思う。</p> <p>・利用者本人のモチベーションを上げる声掛けを心掛けて、運動実施に付き添ったりしている。</p> <p>・自分が関わった内容や他の職員からの関り方も聞き、比較しながら実践している。</p> <p>・利用者の状態やどの日の様子観察をしながらゆっくり過ごせるように取り組んでいる。</p> <p>・半年毎のプランの見直し前の担当者会 (文書開催で照会) や普段の関わりの中での何気ない会話の中で情報を収集してご本人の意向、気持ちの変化などケアプランのゴールの内容も変更したり、加えるなどを行うように努めている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・健康器具を使用時、足を動かすのがしんどいと言われてしまうと3日坊主で終わってしまう。本人が身体的に行えるどうかの状況は把握しておく必要がある。 ・それぞれの利用者の目標があまりわかっていない。当面の「～したい」は理解できていてもゴールと言う先のことになるとなかなか分かり辛い。何気なく利用者さんと関わっていて、深く知ろうとしたり、ご本人におききすることがなかった。 ・私自身が関わっていないから。（夜勤専従のため昼間の事はわからない。） ・その時々利用者さんへ関わる時間が違うし「～したい」の事は理解できて目標まではわかっていない。夜勤専従の為に話す機会がない。 ・利用者個別の目標についてそれぞれ関りは十分でない。目標がしっかりと把握できていない。そして、その目標を日々の関わりの中で具体的にできていないこと。 ・自らが行った実践を他の職員に周知できていないことがある。自分で納得しただけで伝え忘れている。 ・利用者によって対応ができなくてうっかり忘れていて、後回しになることがある。時間を予測しながら行動ができていない。日常の中で何か体を動かす取り組みをする考えをもつ。 ・日々の業務に追われてご利用者、ご家族とコミュニケーションが十分とは言えない。月1回の自宅訪問などもやや形式的になっている場合がある。ご家族との時間、タイミングなど調整がうまくできていないこともある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>○ケアプランの内容の達成度がわかりやすいように%で表わし、評価した達成度で支援内容の再検討を行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 9 月 21日 (9:30 ~11:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員10名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	4人	2人	10人

前回の改善計画

- ・普段の関わりで本人や家族から出た昔・今の状況で生活に関する情報はタブレットのタイムライン上部の「特記事項」に記録する。
- ・モニタリング時に担当者が確認し、スタッフ会で共有できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・アセスメントにつながる情報を「特記事項」に記入、活用できていない。月1回のモニタリングは紙ベースの様式への記入していて、タイムライン上の記録で行っているので行っていて、活用自体が意識できていない。タイムラインへの記録の入力で精いっぱい。

進捗状況を年度途中で評価できなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	人	1人	7人	2人	10人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1人	9人	人	人	10人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	5人	4人	人	10人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1人	9人	人	人	10人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	人	7人	3人	人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・介護はなんとかできている。利用者様一人一人のやり方、安全にしている。 ・職員のサービスの向かい方は個人差はあるができています。例えばご利用者の自宅の掃除や整理整頓など。 ・本人の状態に合わせた食事や入浴は概ねできている。 ・体調の変化に気付いた時はみんなと共有したり、責任者の指示を受けて動いている。 ・各利用者さんに合わせた対応はできていると思う。何か気になる事があれば、話せる環境にある。 ・食事はできるだけ食べて頂く様に声掛けをしている。排泄も声掛けしながらご本人の出来る事等を確認しな 	

から介助している。

- ・ミーティング（スタッフ会）に参加できた時は自分の担当の方の事を発言するようにしている。
- ・スタッフ会や朝の申し送りで伝えられた。個々の支援で変更があった時は対応している。
- ・体調変化や本人の気持ちに寄り添いながら対応できている。
- ・スタッフ会は参加する事でいろんなことが把握できるようになってきている。ひとり一人の利用者利用者様によって介助が違うのでその方に合わせた介助ができていると思う。
- ・ご利用者のご自宅での生活の様子やご意向、ご家族のご意向など月1回ではなく必要に応じて訪問や連絡を行いながら、必要な支援の見直し、調整に努めている。他の関係機関との連携においても近況や相談、報告などできるだけ丁寧な情報提供を行うように心がけている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者様の内面、その背後にある物がまだ、みつからない。努力がたりない。
- ・本人の日常生活の中で自分では几帳面に整理できていると思っけていても、訪問介護サービスの状況をみると職員によって整理、掃除の丁寧さが違う。
- ・人任せの状況が続く人がいる。すべてのことが整理できていない。利用者本人がやる気を起こさせるような生活、手順表、カレンダーに必要事項を記入したり、メモをする。
- ・ご本人の以前の暮らしなど10個以上の把握はできていない。ご本人は認知症でご本人からの聴き取りが難しい上に、ご家族に話をお聞きする機会が少ない。
- ・利用者の自宅での生活環境と言うのはちょっとわからない。自宅でのかわりがないから。
- ・ご自宅での暮らし方は全部は把握できていない。ご家族様やご本人と話す開会が余りない。
- ・月1回のスタッフ会に参加できていない時、後で、意見を記入することになっているがおろそかになっている。議事録に目通しするだけでは自分自身が理解できていない時があるのと、記録の目通しが後回しになってしまっている。
- ・変更があった支援の後がどのようなであったかの観察ができていない。支援の必要性をしっかりと把握していないまま支援していることがある。
- ・利用者個人の生活環境が把握できていない。本人の生活歴を調べて覚えていける集中力が必要だと思う。
- ・必要な支援としてサービスを行っているがサービス過多になっている場合もあり、先回りしすぎてご本人の残存機能が充分生かせていないこともある。職員間でのサービスの見直しなどで情報収集が十分でない。サービスありきで勧めていることもある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

端末の個別記録の「特記事項」を月1回の自宅訪問時の記録として活用し、朝の3分間研修の時間を活用して職員へ周知する。得た情報など必要に応じてアセスメント、エコマップへ記す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 9 月 21日 (9:30 ~11:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員10名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか？	人	2人	2人	6人	10人

前回の改善計画

・年内までにエコマップを作成する。(担当者が下書きをを行う。)

前回の改善計画に対する取組み結果

手書きのエコマップの作成を行った。手書きのまま、状況の変化に応じての修正ができていない。担当職員が作成に関われなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	人	4人	4人	2人	10人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	人	4人	3人	3人	10人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	人	5人	3人	3人	11人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	人	2人	5人	3人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
--------	------------------------------

・家族とも接触し、日頃の生活状況を等も納得いく様、又、理解のできたる等、意見交換して接している。
 ・事業所が直接接していない時間をどのように過ごしておられるかはご自宅に伺ったり、何気ない会話の中でお聴きしたりして何となく把握していると思う。
 ・わからない。
 ・全くありません。
 ・ご家族との関りはコロナ感染対策をとりつつ、受診や日頃の様子を電話、直接お会いした時にお伝えするように努めている。
 ・訪問対応について本人の安否確認や薬の確認など。
 ・利用者が安心、安全に過ごせるように支援で来ている。利用者職員と言う関係性で会話ができていると思う。
 ・手書きのエコマップの作成は行っている。新規の利用者の方は地域包括、民生委員さん、ご利用者宅の近隣方と連携をとるようにして、独居生活を支えるように可能な限りの体制づくりを行った。その後も相互にコミュニ

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族との関りや連携がうまくつながっていない様か仕草をされる。そこはせめて慰めの言葉で落ち着ける。(コロナ禍でご家族との関りが減っている。) 地域の人や家族との出会いの場を広げコミュニケーションの幅を拡大する案が必要。コロナ禍で難しいと思うが。 ・エコマップの作成に関わっていない。やり方がわからないから。 ・わからない。(わからない) ・訪問や通いの仕事をしていないため。(夜勤専従の為。) ・通いの時間外やサービスのない日のご本人の様子は全て把握することは難しい。利用者が体調不良や精神的に不安定になることがある。事業者の関りには限度がある。ご本人にまつわることで分かったことがあれば、対応するようにしている。 ・事業所に来られていない時間、本人がどのように過ごしているかの把握。申し送りや介護記録は見ている。直接訪問している職員から状況を自らは聞けていない。 ・利用者の生活スタイル、生活歴を覚えていない。特定の利用者の対応に偏ってしまっていると感じる。 ・エコマップは情報収集が十分でなく、初めに手書きのものだけに留まっている。作成に時間が取れていない。情報を書き加えたり、変更することが意識も含めてできていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>エコマップをパソコン処理して入力し易いようにする。(パソコンに慣れない職員はできる職員が担う。負担にならない程度にパソコンの操作を時間がある時に少しずつ覚える。)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 9 月 21日 (9:30 ~11:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員10名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	3人	人	10人

前回の改善計画	
・細かい事でも気づいたことを申し送りに記録し、職員間で情報を共有する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
情報の共有については申し送り記録や口頭、メモなど同じ内容で共有忘れや伝達忘れがないように取り組んでいる。月1回のケアマネによる自宅訪問等についてもご家族、ご本人からの聴き取りの内容も細かく申し送り記録に入れて、職員間で共有を図った。地域資源や関係機関との連携も情報共有を図るよう努めた。勤務形態で夜勤専従の職員に関しては記録やスタッフ会での共有は行っているが実際には記録の目通しのみで終わっていて関心度が低い。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	人	3人	5人	2人	10人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1人	7人	1人	1人	10人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1人	8人	1人	人	10人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1人	8人	人	1人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ番組よりヒントをもらって「ロダン方式」による快便方法を試みている。(トイレに方法を記入している。) ・日々の関わりの中で本人の「変化」に気づいた時はミーティング等で共有できている。その日の状態やニーズに合わせて柔軟な支援ができていると思う。 ・何か気付いたことがあれば申し送りをしている。 ・申し送りやスタッフ会においての情報は共有できている。 ・申し送りに記録し共有している。口頭での情報交換にも努めている。 ・その日その時の本人の状態に合わせた支援。 ・ご本人の状態を観察、または状態をお聞きしながら対応できている。身体的なことの変化、例えば皮膚の状態など気になる事はミーティングで共有している。 ・日常的にご本人の状況、ご家族のご意向に合わせて対応、サービスの調整に努めている。対応できない時は丁寧な説明するようにこころがけている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・この「ロダン方式」は足を組んで静止するのがしんどいと言われ、留まると言った結果になっている。この方式の良さが把握されていないと思う。 ・細かい事での気付きを申し送りに記録し、職員間で情報を共有することができていない。大まかな気付きだと必ず行えるが細かいことになると忙しかったり、面倒くさかったりして行えていない。 ・地域のことはあまりわからない。あまり関わることはないから。 ・細かい部分の情報は生かせていない。夜勤専従の為、日勤帯と夜勤帯と関わり方が違う場合がある。 ・コロナ禍でもあり、地域の資源となると難しい。先行きが見えない状況。 ・細かい事などで気づいたことを職員間で情報共有に務めているが記録に記していないことが多い。忘れてしまっている。 ・地域の資源をうまく活用できていない。時間にゆとりをもって利用者と一緒にできることを考えていない。 ・ご本人やご家族の意向に体制上、添えないこともある。職員の体制にゆとりがない。サービスの見直しが十分でない場合もある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・新しく敷地内に就学前の子供たちが週1回数時間利用できる場ができ、コロナ禍でお互いに行き来や交流ができるか相談をし、一つでも進めてみる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 9 月 21 日 (9:30 ~11:00)

6. 連携・協働

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員10名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	3人	2人	10人

前回の改善計画
・コロナウイルスの感染に気をつけて利用者や事業所にとって必要性の高いものから専門以外で職員の視野を広げられる研修への参加や地域の活動に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・法人内研修で外部の講師を招いて行った研修には、ほぼ全職員が複数回参加できていた。出来るだけ対面で行い、一部リモートで行った。研修の資料を用いて3分間研修で再度、学ぶようにして継続できている。 ・地域の行事はコロナ感染の影響で中止となり、参加が出来なかった。唯一、7月末の輪越しの行事にひな形に無病息災を願って干支や年齢など利用者に記入して頂いたりして、職員が代行して参加することができた。地域、圏域の地域包括からの配布物などはご利用者に直接見て頂きながら、文書の説明をしたり、掲示を行っている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	人	2人	2人	6人	10人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	人	1人	2人	7人	10人
③ 地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	人	人	2人	8人	10人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	人	2人	2人	6人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に対してもできることを最優先して、研修等にも足を運んで取り組んでいる。 ・わかりません。 ・研修には参加している。 ・研修には年1回は参加している。 ・リモートを活用した研修が実施できている。 ・法人内の研修には2回参加。 ・地域の方が見学、相談に来られる事もあり、パンフレットや職員の名刺などを渡しながらその都度できるだけ丁寧にお伝えしている。 ・医療機関、関係機関などサービス担当者会は文書開催となっているが照会でご意見など頂いてケアプランに反映できるようにしている。 ・新たな地域の方に事業所へのご協力などお願いをしている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・正しい知識や情報の共有と不安や疑問を言葉にして対話できる基盤づくりができていない。感染症に対する理解度が乏しく事細かく説明できる研修を開くべきでないか。 ・会議や各種機関のイベントの参加はできていない。コロナの影響もあり。 ・わかりません（わかりません） ・その他のサービスや地域の会議や研修には参加できていない。コロナ禍でなかなか参加できていない。 ・コロナ禍で参加ができない。 ・地域の活動はコロナ禍でできていない。感染状況が増加、減少の繰り返しで落ちつかない。 ・地域の活動など。コロナ禍で中止になったこともあったと思う。 ・地域の各種機関、団体などの会議に参加できていない。コロナ対策として会議などが行えていないので仕方ないと思う。 ・コロナ禍前のように地域包括、自治会長さん、民生委員さんとの連携がとれていない。運営推進会議が文書開催で対面で情報交換する機会が激減した。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域での活動、イベントが再開されるものから参加する。 ・地域包括支援センターの会議や研修に参加し、事業所で継続している毎日の3分間研修で学びあう。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 9 月 21 日 (9:30 ~11:00)

7. 運営

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員10名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	1人	1人	10人

前回の改善計画

・地域の方にお会いした時は自ら明るく挨拶を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

・コロナ禍で地域の方に事業所に来所して頂く機会は持てなかった。唯一、個別の散歩などご利用者、職員とも地域の方にご挨拶して頂くこともあったが、機会は少なかった。
 ・ほぼ毎朝、事業所の敷地外で隣接の駐車場やバス停付近までは掃除を続けていて、その時や出退勤時に会う時はご挨拶できている。地域の方からの個別のご相談があり対応をおこなった。玄関外の意見箱（郵便受けの隣）の設置をしている。利用は殆どないが、「使い捨てのペーパータオルを置いて欲しい」（※事業所内のトイレ、洗面所等と思われる。）のご意見があり、運営推進会議の議事録をに回答をさせていただいた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1人	4人	2人	3人	10人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	人	5人	3人	2人	10人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	人	5人	2人	3人	10人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	人	人	4人	6人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のパンフレットを地域にホスティングしたり、手渡しする。その時に高齢のご家族のことで相談を受けたことがあり、話を伺ったり、事業所の利用について伝えた。 ・地域の方に限らず明るく挨拶を行えるようにしている。 ・地域の方かそれ以外の方かわからないが丁寧にせつしたいと思っている。 ・事業所に来られた方には挨拶はできている。外部においてもできている。 ・行事などはなくなり、地域の方との交流がもてないがお会いした時には挨拶や少しお話しをしたりする。地域の方が訪ねて来られることもあるので感染対策を取りながら密でない場所で交流を図っている。 ・地域の方とお会いできるタイミングはとも少なくないですが必ず、自ら声をかけるように気をつけている。 ・利用者から、対応の仕方で苦情など訴えがあれば、報告していい方向にもっていく対策ができている。 ・事業所が行う地域の方に参加してもらえない行事がないが、作成したものなどをお渡しして事業所の状況をお伝えした。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職員が住んでいる地域には独居の高齢者も多いのと車いすで移動している方も多。事業所と同じ地域で生活して地域の一員としてその方達に自らコミュニケーションはとれていない。地域の方は施設等の利用をされると外に自由に出ることもできないと思われている方も多い。 ・運営に関しては意見を言ったり地域の方と協働して取り組んだりは出来ていない。よくわからないため。地域の方とお話できるタイミングが少ないため。 ・地域との関りが全くできていない。地域の方との関りが無いから。 ・地域の方との関りが無い。夜勤専従のため、地域の方と関わる時間がない。 ・地域と協働した取り組みは実施できていない。コロナ感染対策のため。 ・利用者からご家族へ代弁して、うまく話せなかったことが一度あった。コミュニケーション不足やその日の職員自身の体調もあり、思うように答えることができていない。 ・地域の方からの直接、ご意見をお聞きする機会がほぼなくなっている。運営推進会議以外は日々の業務に追われて意識も保てていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のスタッフ会でご家族、地域からの意見などについて会議の議題にし、職員間で話し合うようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 9 月 21日 (9:30 ~11:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員10名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	7人	2人	1人	10人

前回の改善計画
職員が事業所内外の研修会に1回以上は予定を立てて参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の研修については達成できた。研修資料も朝の3分間研修で学び合っている。 ・法人の身体拘束等適正化委員会で6事業所が事例発表をし、事業所ごとに意見をまとめて会で検討会を行い、結果を議事録としてまとめて、職員へフィードバックしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1人	8人	人	1人	10人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	5人	3人	1人	10人
③	地域連絡会に参加していますか	人	人	3人	7人	10人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	3人	4人	2人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・会社が勧めている研修等に参加して自分なりに学習、学び直している。 ・研修には参加できている。(法人内研修) ・資格取得のため、職場以外の研修に参加している。 ・年間の予定を立てて感染状況に応じてリモートでの研修に参加している。 ・利用者の安全対策として車いすを変更したり、直ぐに気がつくようにチームで取り組んでいる。 ・スタッフ会に参加して利用者の状況が把握できてためになった。 ・毎日の3分間研修を継続しているのと資料も参加した研修の資料など活用して学ぶ機会がつかれている。 ・外部研修はほぼリモートでは時間を作って参加している。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会には参加できていない。時間をつくる努力もしていない。 ・地域連絡会には参加できていない。よくわからないため。関りがないため。 ・地域連絡会のことは全くと言っていい程わからない。あまりかかわることがないから。 ・資格取得やスキルアップの研修に参加できていない。自分がどのように資格をとったり、スキルアップしたいか目標が立てられていない。 ・参加する研修の回数を増やす。プライベートの時間（子育て中）で研修の日程や時間を調整することが難しく、行けそうな時を選ぶようにはしている。 ・外部の研修にあまり参加できていない。対面の研修ではコロナ感染対策で状況が落ち着いたら参加しようと考えている。 ・外部研修については参加できていない職員が限られている。人手不足と職員の勤務形態も異なり、調整が難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・持ち上げない移動、移乗の技術を学ぶ。 ・ユマニチュードの技法を学ぶ。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 9 月 21日 (9:30 ~11:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員10名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	人	人	10人

前回の改善計画	・利用者との会話をする時は目線を合わせて穏やかに話を聴く態度を持ち行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ゆったりとした時間は持てない事も多いが、穏やかな空気は流れるようにこころがけている。 ・不適切な対応や言動については後回しにしないように責任者から伝えている。職員同士では人間関係もあり、なかなか難しいが、月1回のスタッフ会の議題に「ケアについて」あげているので個別に指摘をせず、全職員のケアに関わる姿勢として意見を出して気付いて貰うようにする時もある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	4人	5人	1人	人	10人
② 虐待は行われていない	7人	3人	人	人	10人
③ プライバシーが守られている	4人	3人	3人	人	10人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2人	4人	人	4人	10人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	2人	7人	人	1人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・複数の方が連泊されていて同じ時間帯に対応が必要になる時は待ついただくこともあるがスピーディに動くように心がけている。 ・利用者さんと会話時には目線を合わせて、なるべくゆっくり穏やかに話を聴くよう心掛けている。 ・何とかできていると思う。 ・身体拘束、虐待はしていません。 ・利用者との会話では穏やかに話を聴こうと心掛けている。できていない時は振り返りをするようにしている。 ・利用者との目線が合うように腰を低くして声掛けを行っている。コミュニケーションが取りやすいように、相手の表情などが感じやすいように。 ・利用者様がいやな気持ちにならないよう明るくこころがけている。今後も気をつけたい。 ・丁寧に声をかける。傾聴する姿勢を大切にしている。プライバシーが保てるように言動と対応に気をつけている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・全面的に介助や誘導が必要な方に対してその都度、丁寧に関わっていないことがある。利用者の意向が汲み取れていないことも多い。 ・自分が気づかないうちにふとした言葉がスピーチロックになってしまっていることがある。忙しくて余裕がないため、利用者が転倒してしまうかもと焦ってしまうこともある。 ・宿泊部屋の入り口を開けたままケアをしてしまっていることがある。夜間帯は夜勤者一人なので、他の利用者さんに呼ばれた時に聴こえ辛いので、あえて開けていることもある。 ・トイレ介助時、トイレ内で職員が待つことがあり、鍵もかけないのでプライバシーが守れない時もある。（転倒等防止のため） ・職員間の情報のやりとりでフロアでの会話などがプライバシーが守れていない時がある。気が遅く配慮にかけている。 ・業務に追われると「ちょっと待って下さい。」など焦ってでてくる言葉が多い。自分の心の余裕が無く相手の気持ちを考えられていないのだと思う。 ・ゆっくりと話ができる時間、ゆとりがもててない。落ち着いて行動、周りを見ながら声掛けができていない。 ・配慮の足りない言動、声の大きさなど。意識の低さと良かれと思って気づいていない面もある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での職員の言動、声の大きさは周囲に配慮しながら行う。（トイレ誘導、介助時・ミーティング・申し送り等） 	